

令和8年度 東通消防団定期観閲式・功労者表彰式



5月24日、東通村体育館において、東通村消防団定期観閲式が挙行されました。

村内20分団から6分団体制へ再編後、初めて開催された観閲式には、坂本 義彦 団長をはじめ、全6分団の総勢171名に加え、防衛装備庁下北試験場消防隊が特別参加し、畑中 稔朗 村長の観閲を受けました。

式では、現況報告に続き、通常点検、纏組による纏振りや消防功労者への表彰が行われました。また、式のアトラクションとして、こども園ひがしどおり「幼年消防クラブ」による纏振りと「防火のちかい」が行われたほか、東通音楽クラブが行進曲などを演奏し、会場に花を添えました。

観閲にあたり畑中村長は、今年4月に岩手県で発生した大規模林野火災に触れ「6分団への再編により新体制となったことで、人員や資機材の集約を図り、訓練や装備の質の向上・災害対応力の強化など、地域防災の向上につなげていただきたい」と訓示を述べました。

今年に入り、村内でも火災が発生しています。一人ひとりが火の取り扱いには注意しましょう。



東通村消防団 本団 坂本 義彦 団長



観閲する畑中 稔朗 村長



開式陳告する奥島 涼子 教育長



通常点検(車両点検)



纏組による纏振り演技



幼年消防クラブによる纏振り



東通音楽クラブ 演奏



表彰式(消防庁長官 竿頭綬)



坂本団長 答辞